



☆わかりやすく 1-4 (ワン・フォー) の形を借りて今の RJG のテーマを確認します。

ウィング (2) がボールを持つところ (図-C) をよく覚えてください。ワン・フォーの形から始めたので 1から2へのパス (エントリー・パス) が入っていますが、重要なのが2と3のプレイヤー。このふたりのアイ・コンタクトがひとつのきっかけになります。「きっかけ」とは、「必ずパスを入れる」とかではなく、その「チャンスがある」ということです。勘違いしないように。このふたりのタイミングの見極めが大きなポイントです。ちなみに、図-Cは「UCLA カット」。入門編的なカットとスクリーンの組み合わせです。また、図-Gはこのプレイの裏で4と5のスクリーンからのゴール下へのパスを示しています。「プレイの選択肢を複数持つ」。もっとも重要な約束で、「命」くらい大切と思ってください。

3はこの位置 (図-D) でチャンスがあるならパスを受けますが、受けられなければボールマンにスクリーンをかけるか、飛び出し (ポップ・アウト) てパスを受けます。この動きがインサイドにスペースを作ります。ここからフラッシュ・ポストした4、コーナーへ走った2、逆サイドの1とパスの選択肢が広がります。ワン・フォーの形を借りましたが、大原則はベーシックな約束をしっかりと覚え、そして覚えただけではいけないことを知ること。基本・基礎は崩してこそ生きることを知ることです。